

事務事業名	消防団分団交付金事業		所属部局	消防本部	単位番号	13057
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	消防課	課長名	清水 貴雄
			所属担当	地域消防担当	担当者名	志村 太
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01 名称 一般 09 項 01 目 02 細目 030 細々目 05		
政策	計画	06 安全な環境づくり	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		
施策	体系	08 防災体制の充実		法令根拠	消防組織法、消防法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)			
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 旧町村単位の消防団であり、部制により、地域の防災活動を行っている分団及び部を支援している。南アルプス市消防団は6分団制で行っている。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 負担金補助交付金 16,931		
				計 16,931		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない									
26年度活動内容	各分団及び各部単位での活動及び連絡調整	⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア分団単位の消防活動の日数</td><td>日</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア分団単位の消防活動の日数	日	イ		ウ	
名称	単位										
ア分団単位の消防活動の日数	日										
イ											
ウ											
27年度活動予定	各分団及び各部単位での活動及び連絡調整										
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない									
八田分団・白根分団・芦安分団・若草分団・楡形分団・甲西分団		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア分団数</td><td>団</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア分団数	団	イ		ウ	
名称	単位										
ア分団数	団										
イ											
ウ											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない									
地域間の消防活動の連携・統一		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア分団の中での連携が図れたと思った団員の数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア分団の中での連携が図れたと思った団員の数	人	イ		ウ	
名称	単位										
ア分団の中での連携が図れたと思った団員の数	人										
イ											
ウ											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない									
地域住民に安心感を与える		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア消防団が居る事で安心だと思った住民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア消防団が居る事で安心だと思った住民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位										
ア消防団が居る事で安心だと思った住民の割合	%										
イ											
ウ											

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	16,744	16,855	16,931	16,996	16,996	16,996		
		事業費計(A)	千円	16,744	16,855	16,931	16,996	16,996	16,996		0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	500	500	500	500	500	500		
		人件費計(B)	千円	2,276	2,276	2,276	2,276	2,276	2,276		0
		(A)+(B)	千円	19,020	19,131	19,207	19,272	19,272	19,272		0
	活動指標	アイウ	日	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0		
	対象指標	アイウ	団	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		
	成果指標	アイウ	人	745.0	755.0	740.0	740.0	740.0	740.0		
	上位成果指標	アイ	%	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年の町村合併により南アルプス市となりそれに伴い八田村・白根町・芦安村・若草町・楡形町・甲西町の6つの消防団が統合され、南アルプス市消防団となった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	旧町村単位の6つの分団があり741人の消防団員が活動している。消防団員の確保は大変困難であり事務量も増大した。合併後は分団運営費も削減され限られた予算の中で消防団活動を行なっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	4~5年程前から区長らが団員を行ったり女性消防団員なども出始めており今後益々確保が厳しくなる。消防庁からは、消防団員を減らさないようにと要望も下りてきている。また、合併後の消防団運営費の削減により、訓練

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	団員数の確保が重要視されている
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	特に無し

事務事業名	消防団分団交付金事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	------------	-----	------	-----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 火災や災害時に被害を最小限に抑える。上下間夜規則を重んじ、組織として災害時に円滑に運営出来る。⇒市民の生命や財産を火災や災害から守る。安心・安全なまちづくりが行える。⇒防災体制の充実。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 火災や災害から市民の生命や財産を守り、安心安全な社会をつくるのは市の債務である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 火災や災害から市民の生命や財産を守るため今後も維持・継続は必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 これ以上の分団活動は団員確保等にも影響がでるため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 消防団活動を安全に行うために、規律や訓練などを繰り返し行なう必要があるため。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 活動が出来なくなる <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 消防団の活動が困難になる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 地域での消化活動、火災予防運動、夜警、各種市開催行事の警備、救護、防火、防犯診断、文化財防火デー訓練など活動量に比べて交付している金額は少ない。これ以上の削減は難しい。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 団員は自分の職業を持ちながら消防団活動を行なっているので難しい部分もある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 究極のボランティア活動。各地域から団員が出ており均衡が取れていると思われる。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・分団の中には、人員定数割れの分団も出てきており、団員確保が難しい。 ・機能別団員や機能別分団制度を活用していかなければならない。 ・26年度については、団員が数名増加した。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ボランティア活動であり現状維持に留める。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 少ない交付金の中で、現状維持。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>③</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑩	コスト削減優先度評価結果	③																	
成果優先度評価結果	⑩																					
コスト削減優先度評価結果	③																					